

# 県連ニュース

2018年 3月号 NO-488



「綿向山の樹氷」2017.02.04 撮影

滋賀山友会所属 北村 光雄さん提供

## 滋賀県勤労者山岳連盟

## 目 次

寄稿	リレーエッセイ	2
案内	定期総会のお知らせ(既報)	3
	第39回 近畿ブロック 搬出技術講習会(既報)	4
報告	第13回 理事会議事録	7
	2017年度 代表者会 報告	8
	第14回 理事会議事録	9
	雪山基礎講座2(第2回) 鈴鹿山系 竜ヶ岳	11
	雪山基礎講座2(第2回) 中央ア・恵那山	13
	北海道 BC スキー報告(スキーネット)	18
	探鳥ウォーキング報告	20
	ぐうたら理事長のつぶやき	21
予 定 表		22

まだまだ先と思っていましたが、今年の2月に60歳と還暦を迎える年齢となりました。60からは「第2の人生」と言われ、世間一般ではその後の長い時間をどのように過ごすかがよく問われます。

現実には、年金の受給年齢の引き上げや給付の削減なども相まって、仕事を続けざるを得ない方も多いのが現実です。かく言う私もそのうちの一人です。後数年はそこそこ働くとなると、残された時間はそれほど多くありません。

今までハイキングのみならず縦走や岩・沢登り、山スキーと楽しんできましたが今後は体力の低下を見越してハードな山行は難しくなります。厳しいルートで鍛えるよりも自分の力量に見合った山行を心がけたいと思います。

ハイキングに限らずバリエーションルートであっても地図読み（ルートファインディング）を日頃から習慣付けて楽しむことで読図をはじめとした技術でカバーすることができます。また、視点を変えて各地のトレイル踏破、城跡、古墳、寺社などを取り入れた史跡歩きなども楽しいです。特に最近では古墳や古代朝鮮式城跡（韓国の史跡を含めて）、トレイル歩きにはまっています。

山スキーではリフトを利用した山岳スキー（スキー場への登山届出、ルートの把握、ピーコン・ショベル・プローブの習熟が必要です。）、岩・沢登り、バリエーションでは先人達の残したクラシックルートは技術的な難易度こそ高くありませんが、味わい深いルートがいくつもあります。また、海外登山も魅力的です。ヒマラヤをはじめとした厳しいと言われる山域でも、季節とルートを選べば十分可能（多少のお金と時間が必要）です。

さて、このように日頃から妄想していますが個人的にはこれからの10年を通じて ①山やスキーに関わる仕事 ②古代の歴史を学んで発掘調査に従事を目指したいと思います。単なる願望ですので、趣味が本業となるまでにはいきませんが。

年齢を重ねても登山の楽しみは広くて深いと思います。会員の皆さんもそれぞれが主体的に山に向き合うと、登山の喜びが広がることうけ合いです。

最後にフランスの詩人アラゴンの詩「ストラスブール大学の歌（大島博光訳）」の一節を紹介します。

「教えるとは希望を語ること 学ぶとは誠実を胸にきざむこと」

総会のお知らせ（既報）

## 第42回 定期総会

日時：3月11日(日) 13:30~18:00  
13:00開場（各会理事は12:30集合）

場所：県立スポーツ会館2階（昨年と同じ所です）  
滋賀県大津市御陵町4-1

TEL:077-522-0301

<http://www.bsn.or.jp/spoken/>

- ★JR 大津京駅 徒歩5分
- ★京阪電鉄皇子山駅 徒歩2分
- ★無料駐車場（22台）あり



## 第 39 回 近畿ブロック搬出技術講習会のご案内

### ▼尾根搬出、岩搬出、岩のセルフレスキュー

日時 2018 年 4 月 1 日(日)8:00 受付開始 8:30~15:30 雨天決行、警報発令中止

集合 百丈岩やぐら奥の河原(JR 道場駅より徒歩約 30 分)

場所 百丈岩周辺

内容 吊り上げ吊り降ろし、引き上げ引き下ろしシステムのロープレスキュー、  
背負い方法等のレスキューシステムを実践で学ぶ。

コース

▶ 尾根コース・岩コース(初級者・経験者コース)

▶ 岩セルフレスキューコース

※受付にて希望コースを申し出てください。(岩セルフレスキューコースは先着 10 人  
です)

装備

▶ 尾根コース:ヘルメット\*、ハーネス\*、自己確保用装備\*、安全環付カラビナ\*、スリン  
グ\*、デ이지ーチェーン又はパス、確保器、カラビナ等

▶ 岩コース・岩セルフレスキューコース

ヘルメット\*、ハーネス\*、自己確保用装備\*、確保器\*、安全環付カラビナ\*、アブミ、  
カラビナ\*、クイックドロ\*、スリング\*、ハンマーデ이지ーチェーン又はパス\*、等

※1 \*は必須。 ※2 上記の他、各コースとも一般装備(行動食、水筒、雨具等)必要。

#### ■ 対象者

▶ 岩登りの経験があり、搬出技術の向上を目指す方。

▶ 「岩セルフレスキューコース」は搬出技術講習会参加経験者で主に岩登りをされる方  
のみとします。

▶ 新特別基金、又は、それに準じる山岳保険加入者。

#### ■ 参加費

資料代 300 円/部をいただきます。

★参加を希望される方は事前に所属会を通じて氏名・性別を各府県連盟へ連絡願いま  
す。

各府県連盟は 3 月 12 日(月)までに近プロMLに報告をお願いします。

### <特記事項>

- 雨天決行です。当日の朝の7時30分時点で警報発令時は中止します。
- 訓練中の事故等に対しては自己責任での安全確保をお願いいたします。  
各コースともヘルメットのない方は参加できません。
- 前夜泊は鎌倉峡河原にてテント泊可能です。
- お車でお越しの方へ
  - 当日はたくさんの参加者が予想されます。出来るだけ公共交通機関をご利用下さい。  
車の場合は、道場駅前駐車場若しくは鎌倉茶屋管理の奥の駐車場(いずれも有料)をご利用下さい。
  - 百丈岩やぐら前は講習会場として使用しますので駐車できません。
  - 道場駅からやぐら前まで路肩駐車禁止とします。
  - 夜間遅くに来られる方は、近隣住民の方へのご配慮をお願いします。

#### 申し込み・問合せ先

滋賀県勤労者山岳連盟救助隊事務局 友永まで

電話番号 077-524-5618 メール [yt19481013@yahoo.co.jp](mailto:yt19481013@yahoo.co.jp)

### 第39回 近畿ブロック搬出技術講習会のご案内

#### ハイキングコース

- 日時 2018年4月1日(日)9:30 受付開始 9:50~15:30 雨天決行
- 集合・会場 尼崎市中央地区会館(阪神尼崎駅より西へ5分)  
尼崎市西御園町93番地の2 サンシビック尼崎内  
TEL:06-6413-8171
- 持ち物 山行時の装備一式  
(行動食、水筒、雨具、ストック、三角巾、スリング<120cm・60~100cm>、カラビナ等  
昼食)
- 内容 応急手当、搬出技術
- 対象者 ハイキングの山行リーダー及びハイキングでのレスキュー技術の習得を目指す方。

- 資料代 300 円/部（昨年度使用した『ハイキングのセルフレスキュー』と同内容のものを予定）

<特記事項>

- 講習中の事故等に対しては自己責任でお願いいたします。
- 軽登山靴、または運動靴で参加可能です。
- 参加を希望される方は事前に所属会を通じて氏名・性別を各府県連盟へ連絡をお願いします。各府県連盟は 3 月 12 日(月)までに近プロMLで兵庫県連へ報告をお願いします。
- 車でお越しの方へ  
会場には駐車場がありますが他団体含め多数の方が利用されると満車になります。  
会場近くのコインパーキングをお探し下さい。



<申し込み・問合せ先>

滋賀県勤労者山岳連盟救助隊事務局 友永まで

電話番号 077-524-5618 メール [yt19481013@yahoo.co.jp](mailto:yt19481013@yahoo.co.jp)

## 2017年度 第13回 理事会報告

1月24日(水)19:00~20:30 県連事務所

出席:秋田、北村、友永、奥野、中島、堀部、東郷、高玉、今村、宮内(記録)

(理事会定数 14名)

欠席:(連絡あり)長谷川、池田、乾、川端

★下記の議題について、報告 協議 決定しました。

### 1. 総会議案書検討(協議)

- ・2017年度活動報告議案修正を確認する  
教育部(乾)、自然保護部(中島)、遭難対策部(今村)、機関紙部(奥野)、  
組織部(池田)、財政部(宮内)、救助隊(秋田)、CSS(北村)、SKI-NET(北村)
- ・2018年度活動計画案検討-修正を加え、代表者会議までに調整し、提案する。  
教育部(乾)、自然保護部(中島)、遭難対策部(今村)、機関紙部(奥野)、  
組織部(池田)、財政部(宮内)、救助隊(秋田)、CSS(北村)、SKI-NET(北村)
- ・役員体制と任務分担見直しについては、次年度 理事会で検討する。
- ・会計報告-予算案について 理事会交通費等最終支払い後 1/31 で会計締め、決算報告を  
作成後、予算案と合わせて、会長・理事長・事務局長に報告する。会計決算報告は  
2/5 監査を受ける予定
- ・総会までの日程(案)  
2/7(水)代表者会/第14回理事会:議案検討、決算・予算案検討  
2/20(火) 機関紙印刷・発送と議案書印刷、製本、発送 機関紙印刷後、15時~  
16時予定  
3/7(水)第15回理事会:総会準備、(資料集印刷)当日持参のため直前でOK  
3/11(日)総会(滋賀県立スポーツ会館)

### 2. 各部報告

自然保護部:リニア新幹線反対署名 1/24 現在 190 筆  
機関誌部:県連ニュース 3月号 原稿締切り 2/15、印刷・発送 2/20  
財政部:会計監査 2/5 14時から事務所で予定  
救助隊:3/14 事務局会議 3/24 ハイキング搬出打合せ  
CSS :1/26~28 赤坂山~野坂岳 2/2~4 三重ヶ嶽~武奈ヶ嶽  
組織部、教育部、遭対部、SKI-NET :特になし

### 3. その他

- ・2018年4月1日(日)実施 滋賀県連は2班体制 講師1名、スタッフ1名×2班
- ・全国雪崩講習会 2018/2/10~12 千畳敷カール 全国の講師となるための講習
- ・全国連盟第33回総会 2018/2/17~18 東京 ホテルコンチネンタル→友永出席予定
- ・リニア新幹線反対署名については、県連として500筆を目標とする

■次回第1回代表者会&第14回理事会2月7日(水)19:00 ~



## 2017年度 代表者会 報告書

2018.2.7 (水) 19:00～20:00 於:県連事務所

### ◇出席者

代表者→豊田 (滋賀山友会)、西村 (雪稜会)、重井 (岳友会)

理 事→北村、友永、奥野、宮内、堀部、川端、東郷、池田、高玉、乾

### ◇欠席者 委任状→柴田 (ちごゆり)、山本 (シャクナゲ)、高田 (彷徨)

理 事→秋田、長谷川、中島、(共に連絡あり)

代表者会定数20名中委任状出席者を含め17名により2017年度代表者会は成立し、以後下記の議題につき質疑応答がありました。

### 1. 2017年度活動報告、決算案 (報告)

各担当理事より報告説明。組織部報告案中、一部文言の削除及び決算案について科目表記の修正指摘

### 2. 2018年度活動計画案、予算案 (協議)

各担当理事より報告説明。

各会共通の喫緊課題である会員拡大を図るため、ホームページの積極的発信方法や新しいチラシの作成と活用について討議しました。HP上で各会における一般登山者の『体験山行』情報やリアルタイム登山情報等の提供が可能ではないかとの意見が出され、今後の理事会で種々検討していくことので了承しHPの活動計画案について積極的文言を加筆することになりました

### 3.その他

・総会に関連した下記項目の依頼 (2/24までに)

#### 1. 総会役員選出

議長：岳友/彷徨 資格審査：山友 選挙管理 雪稜/ちごゆり

(2017年3月総会は、議長：雪稜/ちごゆり 資格審査：岳友 選挙管理：彷徨/山友)

各会々長宛に依頼〔期限：2/24 (金)〕

(総会役員は、ちごゆり/岳友/彷徨/山友/雪稜の順で輪番とする)

#### 2. 代議員選出 (定数22名)

山友(5名)、雪稜(4名)、岳友(5名)、彷徨(3名)、ちごゆり(3名)、シャクナゲ(2名)

#### 3. 2018年度理事候補選出 [( )内は希望数]

山友会5(6)、岳友会3(4)、雪稜会3(4)、彷徨倶楽部3(4)、シャクナゲ0(1)、ちごゆり0(1)

上記項目を出席代表者・出席理事全員で確認しました

## 2017年度 第14回 理事会報告書

2月7日(水) 20:00~20:45 県連事務所

出席：北村、友永、池田、乾、川端、堀部、東郷、高玉、今村、宮内、奥野(記録)  
(理事会定数 14名)

欠席：(連絡あり) 秋田、長谷川、中島、

★下記の議題について、報告 協議 決定しました

### 1. 総会議案書検討(協議)

- ・ 2018年度連盟三役人事(案) 検討後了承
- ・ 2017年度活動報告議案修正・2018年度活動計画案修正  
代表者会の意見を受けて一部修正
- ・ 総会代議員 定数 22名  
山友(5名),雪稜(4名),岳友(5名),彷徨(3名),ちごゆり(3名),シャクナゲ(2名)  
各会々長宛に氏名報告を依頼〔期限：2/24(金)〕
- ・ 総会役員  
議長：岳友/彷徨 資格審査：山友 選挙管理 雪稜/ちごゆり  
(2017年3月総会は、議長：雪稜/ちごゆり 資格審査：岳友 選挙管理 彷徨/山友)  
各会々長宛に依頼〔期限：2/24(金)〕  
(2014年度決定 総会役員は、ちごゆり/岳友/彷徨/山友/雪稜の順で輪番とする)
- ・ 総会役割分担表(別紙)については次回理事会にて最終確認
- ・ 総会までの日程は下記の通り  
2/20(火) 機関紙印刷・発送と議案書印刷、発送  
機関紙印刷後、15時~16時予定  
3/7(水) 第15回理事会:総会準備、(資料集印刷) 当日持参のため直前でOK  
3/11(日) 総会(滋賀県立スポーツ会館)

## 2. 各部報告

組織部：前月末の会員数（2018・1E／2017. 12E）

山友会 80/80	岳友会 55/54	雪稜会 43/44	彷徨 15/15
ちごゆり 16/16	シャクナゲ 5/5	合計 214/214	(100%)

※ 前年度末比 214/222 96.3%

自然保護部：リニア新幹線反対署名 1/末現在 213 筆

遭難対策部：6月に実施される京都府連の搬出訓練に参加予定

機関紙部：県連ニュース 3月号

原稿締切り 2/15、印刷・発送 2/20 14:00～

財政部：会計監査 2/5

決算報告に修正

救助隊：2/6 搬出訓練全体会議 兵庫県連事務所

3/14 事務局会議

3/24 ハイキング搬出打合せ

CSS：1/26～28 恵那山に変更 2/2～4 竜ヶ岳に変更

SKI-NET：行事予定表に記載（参照）

教育部：特になし

## 3. その他

・ 3/4 京都府連第53回総会に出席予定（友永理事長）

・ 第39回近畿ブロック搬出技術講習会

2018年4月1日（日）実施

滋賀県連は2班体制 講師1名、スタッフ1名×2班

・ 全国雪崩講習会 2018/2/10～12 千畳敷カール

※全国の講師となるための講習

・ 全国連盟第33回総会 2018/2/17～18

於：東京 ホテルコンチネンタル 友永理事長出席予定

・ リニア新幹線反対署名については、県連として500筆を目標とする

(1/末現在 213 筆)

■ 次回 第15回理事会 3月7日（水）19:00～

## 雪山基礎講座 2 (第 2 回 B 班) 報告

### 鈴鹿山系 竜ヶ岳

(雪山縦走、雪山テント泊、ホワイトアウト・ナビゲーション)

日 時 2018 年 2 月 3 日 (土) ~ 4 日 (日)

天 気 3 日 晴れ、4 日 快晴のち曇り

講 師 秋田 (彷徨倶楽部)

受講生 小西、達摩\* (湖南岳友会) \* : 報告

行 程 3 日 : 「JR 守山駅」 8:00 - 「宇賀溪駐車場」 10:15 - 10:40 「遠足尾根取付  
き」 10:50 - 12:30 標高 730m 12:35 - 13:30 標高 870m (TS)  
4 日 : TS 7:50 - 8:40 「竜ヶ岳」 8:45 - 11:30 TS 11:55 - 14:20 「遠  
足尾根取付き」 14:30 - 15:10 「宇賀溪駐車場」

当初、湖北の三重嶽～武奈ヶ嶽にてホワイトアウト・ナビゲーションについて受講する予定でしたが、湖北地方は日本海側に低気圧が入り込み天気が大きく崩れる予報であったため鈴鹿山系の竜ヶ岳へと行き先が変更となりました。

JR 守山駅を出発し、宇賀溪駐車場に 10 時前に到着した後、共同装備の振り分け、出発準備を行い竜ヶ岳目指して出発。登りは雪があるもののアイゼンやワカンを装着する必要もなくテントサイトには 13:30 頃に到着しテント設営、その日の行動はそれ以上行わず、テント内にて明日のためのレクチャーとなりました。

ホワイトアウトは雪や雲などによって視界が遮られ、方向感覚が麻痺し道迷いや滑落など遭難の可能性が非常に高くなるため、地形的に特徴のある地点からコンパスにより正確な方角を導き、ロープがあればそれを用いて正しい方向に進むことが必要だということを教えていただきました。普段、GPS (スマホ) ばかり使用してコンパスを使うことは少ないため、改めて教えていただくと、進むべき方向の確認などとても勉強になりました。GPS は電波を受信できなかつたり機器の故障も考えられるので、コンパスにも習熟しておく必要性を感じます。実際にホワイトアウトになるとパニックになると思うので、どれだけ冷静に行動ができるかが重要だと思いますが、知識があることで、より落ち着くことが出来ると思われました。



竜ヶ岳山頂 (強風のため中腰に・・・)

#### 【課題】

#### ・雪山縦走

3 日 (土) の TS (870m 地点) までは雪はあったもののツボ足で行くことが出来ました。

4日(日)はTS出発時からアイゼンを装着し竜ヶ岳へ登頂しました。山頂に近づくにつれ雪も多くなり、風の通り道には雪庇も確認されたため、安易に近づかず木のある場所の近くを通過する必要があることを教えていただきました。



TSを目指して登ります。



竜ヶ岳山頂を目指します。

#### ・雪山テント泊

樹林帯の傾斜面に整地を行いテント設営しましたが、完全にはフラットにできませんでした。テント内は食事時など簡易コンロを使用しているときは暖かいですが、火を消すと寒くなるため、火を点けたり消したりして調整をしていただきました。お湯は雪を融かして作成しました。



樹林帯にテント設営

#### ・ホワイトアウト・ナビゲーション

スリングで作成した簡易ハーネスにカラビナを付け、50mロープをエイトノットで結び、進む方向をコンパスで決めたあと、二人で尺取虫のようにロープを伸ばしながら進みました。今回は快晴で視界が良く効いたため効果を確認しにくかったですが、もしホワイトアウトになった時には心強い方法だと感じました。



15m/sほどの強風の中、地図の整置を行いました。



進むべき方角を決め、50mロープを使用し二人で尺取虫のようにして進みます。

## 雪山基礎講座 2 (第 2 回) 報告

### 中央アルプス・恵那山

日 時 2018 年 1 月 26～28 日 (日)

天 気 27 日 晴れ、28 日 晴れのち曇り

講 師 秋田 (彷徨倶楽部)

受講生 (湖南岳友会) 森原、山中、大門、川端、山川、高岡

(比良雪稜会) 田中、其阿弥、川嶋 (報告)

行 程 1/26 JR 守山駅 (17:30) = 栗東 IC = (名神高速、中央自動車道)

= 屏風山 PA (仮眠)

1/27 快晴

屏風山 PA = 園原 IC = 車デポ地 (06:45) — 本谷川林道駐車場 (08:05)

— 広河原登山口 (09:00-09:10) — 標高 2,160M 付近 (17:15、泊)

1/28 晴れのち小雪

泊地にて講習 (08:45-09:45) — 恵那山山頂 (09:30-09:45) — 避難小屋

(11:00-11:15) — 避難小屋周辺にて講習 — 泊地 (13:05-13:45)

— 広河原登山口 (16:30-16:40) — 車デポ地 (17:50-18:20) = 帰滋

雪山基礎講座 2 の第 2 回目の講習は、予定の赤坂山～野坂岳の天候が悪く中央アルプス・恵那山に変更となる。この時期の講習場所の選定は中々難しい。

1/26、集合場所の守山駅からすでに雪が舞い、名神高速～中央高速に入り屏風山 PA にて車中で仮眠。

1/27 仮眠後、恵那峡 SA に移動して朝食、共同装備の分配等の準備を終え、園原 IC より恵那山に向かう。

恵那山麓の阿智村でも雪が多く本谷川林道駐車場まで車は入れず、車デポ地より林道を歩く事となった。広河原登山口からは雪も深くなり、トレースの無い状態でかなりの時間をかけて登る事になる。天気は快晴、でも気温はマイナス 10 度以下、風速 10メートル以上という厳しい条件のなかで、ほとんど先頭にたつてラッセルをしてくれていた山川氏の驚異の体力に、皆は脱帽するだけだった。本当に感謝、感謝です。ただ、予定の山頂避難小屋には日没までに着く事が出来ず、2,160m 付近の樹林で幕営となった。夕食は川端さん発案の闇鍋、皆で持ち寄った材料を食して 20:30 に就寝。

1/28 泊地にて地図と磁石の使い方の確認及び今日の講習内容であるホワイトアウト・ナビゲーション (地図上で地形的に特徴のある地点を定め、そこまでの方位、標高差、距離などから正しいルートを進む技術) の説明がなされた後、9:15 山頂及び避難小屋に向かう。途中、先頭を順に交替し、地図と磁石にて方位を確認しながらホワイトアウト・ナビゲーションを体験しながら歩き、恵那山山頂で集合写真を撮り、その後は避難小屋へ。小屋内で再度ロープを使っての講習の説明後、2 班に別れて実地を行う。ロープを使って行こうとする方向にロープを伸ばしながら進む事で正しいルートに進む事ができる。講習終了後幕営地に戻り、テント撤収後下山開始。

## 講習内容まとめ

### 1. ホワイトアウトとは？

雪や雲などによって視界が白一色となり、方向や地形の起伏が識別不能となる現象。ホワイトアウトの状態に陥ると、錯覚を起こしてしまい、雪原（地面）と雲が一続きに見える。太陽がどこにあるのか判別できなくなり、天地の識別が困難になる。また、太陽光が遮られ、足元の風紋も見えなくなったり、雪庇を踏み抜いたりクレバスへ転落するなどの危険がある。

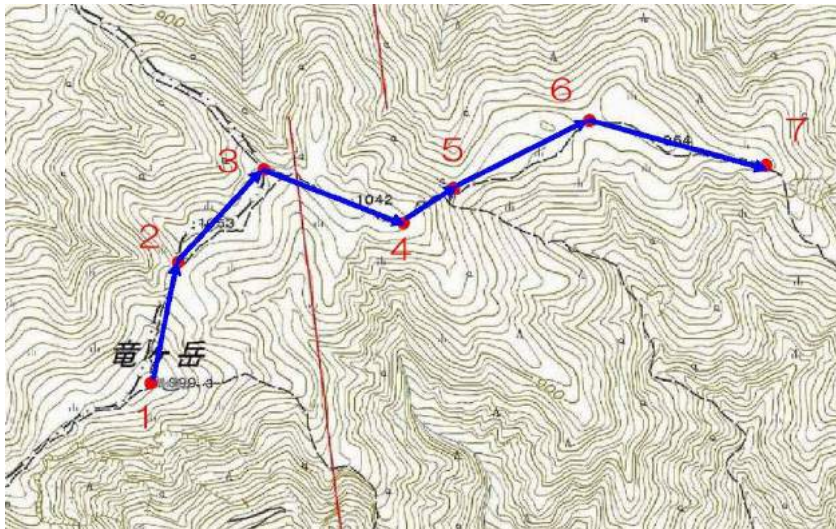
### 2. ホワイトアウト・ナビゲーションとは？

地図上で地形的に特徴のある地点を定め、そこまでの方位、標高差、距離などから正しいルートを進むこと。GPSを併用することによりさらに安全性が高まる。

### 3. 地形的に特徴のある地点とは？

次に示すような明らかに地形の変化がわかる地点を選ぶ。

- (1) 明らかなピーク（台地上の広いピークは中心が分かりにくいので不適當）
- (2) 明らかな登り始め、および下り始めと終わり ⇒ 1、2、4、5、7
- (3) 明らかな鞍部 ⇒ 6
- (4) 痩せ尾根の始め
- (5) 明らかな尾根の屈曲部 ⇒ 3
- (6) 特徴のある岩場やガレ



(例) 鈴鹿・竜ヶ岳山頂付近

### 4. ロープ使用

通常雪山にはロープ（50m or 40m）を携行するが、このロープを用いて、正しい方位にロープを50m ないし40m 単位で尺取虫のように伸ばしながら進むことで、正確なルートを得ることができる。この場合、ロープは紛失しないよう身体に結ぶ。

〔一口感想〕



地図と磁石で方位を確認



ロープを伸ばして進む

- 雪山ではホワイトアウトになって進むべきルートが全く分からなくなることがあります。このような場合、その場で視界が晴れるまで待つか、ホワイトアウト・ナビゲーションによって進むかの選択を迫られます。皆さんがホワイトアウトの状況でリーダーシップをとる場面はないかもしれませんが、知識として心に留めておくだけでも、いざという場合に、リーダーの指示に従ってメンバーとして冷静に行動できると考えます。何を置いても実際の地形と照らし合わせながら「地図を読む」が基本です。(秋田誠)
- 寒波襲来で計画は変更になりましたがこちらは天気が良く林道から積雪がありテンションがあがります。段々と雪深くラッセルし放題(笑)尾根に出ると南アの眺望が最高。標高 2,000 ㍎オーバーでのテント泊、寒さとの戦いでした。2 日目は山頂付近で訓練をしてあつと言う間に撤収時間。深々と雪が降る中、下山しました。2 日間、充実した山行ができました。次回も楽しみにしています。(山川貴史)
- ホワイトアウト・ナビゲーションは視界を制限された状況下での歩行方法の一つで、今回の講習は、目標ピーク、標高差、距離、方位から作ったナビゲーション表と地形図、コンパス及び距離を測る 50mロープを使ってルートを取る方法だった。50mロープを使った林間での実習では、まずコンパスで進む方位を決めてその角度を維持しながら雪の上を進む。しかし、実際には木々等に直進を阻まれて進行方向が変わるため、コンパスの方位角を維持し続けたら目標からずれてしまうことが判った。このような場合、コンパスで進行方向を決め、その線上にある任意の目印だけをひたすら目指して進めば確実性が高いことが判った。(大門喜昌)
- 厳冬期の恵那山の登山、厳しかった！ とともに得るものも多く、多少自信がついた山行でした。とりわけ今回の山行で感じたことを3点挙げます。(森原利光)
  - 1) 厳冬期の 2,000m級の恵那山は寒さと風との戦いでした。
    - 10 度を下回る極寒の中、風も強くアウタージャケットのフードも顔の周りは吐く息で凍りついていました。なぜか、ストックを持っている右手の方が悴んで「グッパグッパ」を繰り返して寒さに堪えました。ラッセルの先頭は当然として2番手まではそんなに寒くはありませんでした。かなり体力を使うためです。列の後ろに回ると体力を使わない代わりに手が非常に冷たくなってきました。寒さ対策として、先頭や2番手でラッセルをしながら山行しないと寒さに耐えられないことがわかりました。



ただし、ラッセルの先頭は大変な体力が必要でした。僅か数分？思いつき進むと酸素欠乏症状で呼吸困難となりました。これが、私の心肺能力の限界か？と心肺能力が課題であることを実感しました。

- 2) ホワイトアウト・ナビゲーション訓練によりコンパスの使い方が上達しました。  
ホワイトアウト・ナビゲーションは、地図上で行きたい方向にコンパスを合わせ、50mのロープを使い、線で進むものです。目標に向けコンパスで角度を読み取り、その角度を維持しながら歩きます。何回となく目標にコンパスを合わせ、その角度を維持しながら歩くことで、ある程度早くコンパス設定と方位を維持しながら歩くことができました。
  - 3) 最後は、なんととっても雪山の素晴らしさを感じたことです。  
2,150m 付近の樹木の無い稜線に出たとき、東に南アルプスの冠雪した雄姿に感動しました。右から、河内岳、聖岳、赤石岳、荒川三山、塩見岳、北岳が横一列に並び雄大でした。登山を初め5年、聖、赤石、荒川三山、北岳の夏山は登ったことがあり、山容で分かるようになりました。いつかは、あの雪山に登ってみたいと思いながら恵那山の山頂を目指し、歩を進めました。夏山は高山に行けますが、雪山は白銀の世界で特別な魅力があります。その魅力を更に高めるために、雪山基礎講座Ⅱで受ける訓練を自分のものにし、雪山にチャレンジしたい。
- 初めて冬山講座に参加させて貰いました。テント泊は初めてでしたが、申し込んだ以上はやるしかないと思い、皆さんに迷惑のかからないように、今年になってからボッカ訓練を2回しました。その為か気持ち的に余裕が生まれました。更に感触を掴む為に岳友会のテント泊にも参加させて貰いました。下山するまでは不安に押しつぶされそうになりながらも、行けた喜びは自信となり自分の成長に繋がっていると実感できました。冬山テント泊で学んだ事は、
- (1) 重い荷物の担ぎ方（重いザックは一旦、股に置いて担ぎ上げる。腰ベルトをキツく締めると肩の負担が軽くなる）
  - (2) テントの設営の仕方（入口を掘り下げる。おトイレ作り、ペグの代わりに竹ペグ、雪ペグ、枝ペグなどを使用）
  - (3) 雪で全ての水分を作る
  - (4) ソウ足は雪の上でも濡れない
  - (5) 12本アイゼンの歩き方（自己流ですが特に前爪の使い方の感触）
  - (6) アイゼンの装着は靴事に調整し事前に靴に合わせて履き、外れ難くないかチェックしておく
  - (7) コンパスの使い方
  - (8) ホワイトアウト・ナビゲーションでは50mロープを使って目的地まで地図とコンパスを合わせ角度を計算し目的地へ進む
  - (9) 闇鍋(^\_^) 皆で食べる食事は美味しく楽しい

今回の雪山1日目は良い天気でしたが、風が強く手足や顔も冷たくなり大変厳しい山行でした。登山中も挫けそうな自分が居ましたが、皆さんと話していると私だけが感じていた事ではなかったんだと思い落ち着きを取り戻せました。素晴らしい景色にも出会え、

一緒に感動できる仲間も出来、次回も頑張ろうと思えました。(高岡範子)

■ホワイトアウトにおいて、読図は必要不可欠だと実感し、ホワイトアウト・ナビゲーション表は有効な手段だと知った。そしてコンパスの方位を確認しながら、ロープで距離を掴みながら目的地に向かえるため安心感があると思った。雪山に登るための姿勢を考え、深く心に刻まれた山行でした。(川端久美子)

■今回も有意義な講習を受講出来ました。講師、参加者の皆さまありがとうございました。ホワイトアウト・ナビゲーションを実際に実習出来、大変よかったです。基本はやはりコンパスの使い方なので、しっかりと身につけたいと思います。また、雪山の厳しさをひしひしと感じた山になりました。ペットボトルの中身もザックに入れていた持ち物も凍り、行動食も凍って食べられなかったものもありました。体の疲労も今までの山行とは全然違って細胞一つ一つが頑張ったって感じでした。貴重な体験をさせていただきました。

(其阿弥道子)

■雪山をはじめようと、当講習会で雪山の知識・技術を学んでいます。今回はホワイトアウト・ナビゲーション講習です。ホワイトアウトした雪山で如何に進行方向を見出すかを、「地図・コンパス・ロープ」を使用した実習です。内容、方法は理解できましたが、実際ホワイトアウトしたら、現実で出来るか・・・が心配です。重要なことは、慌てない、落ち着く等、冷静な態度が必要でしょうね。また、今回実習の恵那山は、深雪、厳寒、ブリザード等、冬山の厳しさを体験することができました。(山中義文)

■野坂岳から赤坂山の予定でしたが、大寒波の影響で恵那山に変更。初日は快晴でしたが寒さ厳しく、登るにつれ飲み水が凍り、羊羹が凍り、何もかもが凍り、厳冬期の山を身に染みて体験し大変勉強になりました。ホワイトアウト・ナビゲーション訓練では、ナビゲーション表とコンパスで角度を決め 50mロープを使って目的地まで進む方法を学びました。地図を読みコンパスをきちんと使えるように、難しいですが身につけたいと思います。有難うございました。雪山の景色は素晴らしく美しかったです。雪の結晶やダイヤモンドダストにも出会い感動しました。(田中啓子)



恵那山山頂で

## 北海道 BC スキー報告 (SKI-NET)

■参加者：谷内資康(彷徨) 村田啓二(岳友) 番浦文子(彷徨) 濱良和(彷徨)

(記録：濱)

●1月19日(金) 晴れ

神戸空港 10:55=新千歳空港 12:45=小樽市内(泊)

●1月20日(土) 晴れ

ホテル 8:00=大沼山登山口 9:15=(シール登行)=大沼山山頂 11:30=(滑降)=大沼山登山口 13:30

=札幌国際スキー場 15:00=(ゲレンデ滑降)=16:00=ホテル 17:30(泊)

昨年のニセコに続く北海道シリーズ企画、今回は上記4名プラス番浦さんの同級生で小樽在住の大塚さんがガイドを引き受けて下さり、大塚さんのパーティとも交流しながらの賑やかな山行となった。

大沼山は小樽市郊外のBCのメッカで超パウダーが期待できるとのこと。こころウキウキで登山口を出発。テンション上がり気味であるものの息もハアハアと上がり、早くも地元道産子チームにおくれをとる。これではいけないと気合を入れ進むが、頂上直下で突然前を行く小樽パーティの一人が数メートル滑落。雪面が崩れピンチ到来。このままだと谷内さんともども落ちる羽目になってしまう・・・。ここは某ドリンクのCMのごとく両手で斜面上部をつかみ、なんとか這い上がって事なきを得、一息つきさらに進み頂上に到着した。最終到着者だったことは言うまでもない。



さて、小休止後いよいよ待望の滑りタイムとなる。恐る恐るスキーを滑らすと、なんと軽い雪。話に聞いていた超パウダーとはこのことか。スキーが雪の中を泳いでいく感じがする。もちろん自分のシュプールが雪面に描く初めてのものだ。ターンするのに何のストレスもかからずフワーフワアと回っていく。これはたまりません・・・という訳であつという間に登山口まで滑った。

帰路札幌国際スキー場に立ち寄ってゲレンデスキーも楽しみ、1日目お開きとなった。

## ●1月21日(日) 雪

ホテル 8:30=塩谷丸山登山口 9:00=(シール登行)=塩谷丸山山頂 12:10=(滑降)  
=登山口 13:30=天狗山スキー場 14:30=(ゲレンデ滑降)=16:30=ホテル 17:30(泊)

北海道 BC スキー2 日目は吹雪気味の天気となった。今年は何でもラニーニャ現象の影響とかで、情けないが寒さが骨身に染みる。天気等も考慮、昨日よりもさらに小樽近郊にある大塚さんオススメ山の塩谷丸山へ GO となる。

塩谷丸山は標高こそ 629mだが眺望、雪質は抜群で、某用品店主催のツアーも人気とのこと。またまた期待膨らませスタートする。しばらくして毎度のごとく息が切れてきてペースが落ちるが、自分のペースでいいよ・・・との慰めのお言葉もあり、ひたすら頂上目指すこと約 3 時間、無事到着した。確かに眺望抜群、日本海がすぐそこに丸見えだが風もすごい・・・。

さて、滑降タイム。昨日に勝るとも劣らないパウダースノー。さすが北海道！！泣けてくる。これまた、あつという間に登山口まで滑り下りた。

最終滑り締めをするため、帰路、天狗山スキー場に寄った。天狗山は小樽駅からも見える観光名所で、頂上レストランではスキー以外の観光客も多く見られた。また、天狗山スキー場は青春時代の番浦さんのホームグラウンドだったそうで思い出話にも花が咲いた。そうこうしているうちに一段と寒気の方が接近してきたのか、強烈な寒さの吹雪となり、風雪低温に極めて強い村田、谷内の両先輩より一足先に引き上げさせてもらった。一番北海道らしさを感じたゲレンデだった



●1月22日(月)小雪

ホテル＝新千歳空港 13:55＝神戸空港 16:00

- 今回は当倶楽部の番浦さんの企画でした。年始・成人の日3連休、2月雪まつりの間のスケジュール設定でかなりの安価だった某旅行社のツアーをGET、また、番浦さんの依頼により高校の同級生で北大ワングル部08の大塚さんにガイドしていただき、粉雪ベストシーズンの北海道で安心して効率的に滑ることができました。なお、快くガイドを引き受けていただきました大塚さんには厚くお礼申し上げる次第です。

希望が丘文化公園

探鳥ウォーキング報告

日時：1月24日(水) 晴れ風強く寒い

参加者：小枝(山友会)、新見修、新見澄、  
山本(以上シャクナゲ)、村井(一般)

コース：西ゲート(9時集合)～山上ダム～  
キャンプ場(昼食)～野外活動センター  
～楓の森～中央道～西ゲート

解散1時半

平坦地(多少アップダウンあり) 約6K



山上ダムにいる可愛いコガモ



ミヤマホオジロ(冬鳥)

見た鳥：コガモ、ヨシガモ、ツグミハクセキレイ、  
セグロセキレイ、ジョウビタキ、メジロ、  
ヤマガラシジュウカラ、ミヤマホオジロ  
カワラヒワ、ヒヨドリ

声を聞いた鳥：コゲラ、シロハラ

☆静かな冬の園内を歩きながら、北国から渡って来た可愛い小鳥が見られることを期待して希望が丘文化公園に集合しました。何年振りかの探鳥会で懐かしい顔が揃いました。しかし、この日も日本列島を寒波が襲っており、寒さが半端なく、鳥もどこかに身を潜めていました。そのために毎回みられる色鮮やかな鳥のアトリやマヒワルリビタキ、ウソなど、残念なことに顔を見せてくれませんでした。それでも「北風吹いても歩きます！」と寒い中を元気に、予定通りのコースを回りました。

スポーツ会館で「鳥合わせ」をして、また春に例会をすることを確認して解散しました。お疲れ様でした。

## ぐうたら理事長のつぶやき

先日の新聞に遭難の記事が出ていました。2016年度の遭難者は、統計を取り始めた1961年以降で2番目に多い2929人になったそうです。60歳以上の高齢者が遭難者の半数以上を占め、60代が25.5%、70代が19.3%となっています。死者・行方不明者の割合も55.5%とおおくなっています。

低い山を軽く見て、自力で下山できないケースが目立つそうです。低い山は登山道以外に作業道や獣道などの脇道が多く間違いやすいようです。地図や磁石も持たず、ヘッドランプも持っていないため日没後は行動が出来なくなってしまいます。また、登山届も大半の人が出しておらず捜索活動に支障をきたすケースもあるようです。

滋賀県でも統計を取り始めた1967年以降最多の108人となりました。会員の皆さまは計画書もきちんと提出されていると思いますし、地図や磁石、ヘッドランプなどの基本装備も持って山行をやっておられると思いますが、体力や経験を過信せず安全な登山を心掛けて欲しいと思います。

4月1日に開かれる近プロの搬出講習会には県連として参加費300円を補助します。ぜひ多くの方に参加していただきたいと思います。

先日、音羽山の周辺の尾根に登りに行ったのですが、取付きを間違えて予定していた尾根と違う尾根を登りました。ここだと思っていたので磁石で確かめずに登り続けました。途中で地図にない平坦で細い地形が出てきたので、等高線でも読み取れない地形があるんだと思いました。登り続けてもうそろそろ緩やかな尾根に出るはずなのになかなか出ないので、遅まきながら磁石を出して方向を確かめると、北に向かうはずが、西に向かっている。ここで初めて違う尾根を登っている事に気づく。違う尾根を登っていたら、地図にない地形が出てきても当たり前です。改めて地図を広げてゆっくりと確認する。さっきの平坦で細い尾根の場所を地図で特定して現在地を確認できた。地図にない地形に出合った時点で磁石を出せばもっと早く気づけたのにと反省する。道のない尾根を登るのはいろんな発見があって楽しいが、しっかりと確認をしてこまめに磁石を出して方向を確かめなければと改めて思いました。

3月は季節外れの武庫川溪谷をのんびり歩きましょう。

3月17日(土)7時39分膳所発姫路行きの電車に乗ります。

コースは武田尾駅～旧福知山線廃線跡(大峰山往復)～生瀬です。

参加していただける方は3月14日までに友永まで連絡してください。

電話番号 077-524-5618

メール [yt19481013@yahoo.co.jp](mailto:yt19481013@yahoo.co.jp) です。

## 行事予定

月	日	県連・全国行事	月	日	各会の行事	会名
3	2-4	雪山基礎講座-2(5) (湖北・土蔵岳～猫ヶ洞)	3	4	蛇谷ヶ峰	岳友
				4	北野天満宮・仁和寺・成就山	ちご
	10	シャルマン火打(スキーネット)		4	荒神山・佐和山	雪稜
	11	県連総会、第1回理事会				
				15	ミーティング	彷徨
				18	湖東・奥島山	山友
				18	飯道山	雪稜
				18	定期総会&ミーティング	岳友
	23-25	雪山基礎講座-2(6) (中ア・金懸小屋～木曾駒岳)		18or25	おまかせ山行(未定)	ちご
24-25	妙高ゲレンデスキー(スキーネット)	21	3月例会(場所未定)	岳友		
		25	湖北・上谷山	山友		
		25	屯鶴峰～大和葛城山	雪稜		
4	1	第39回近畿ブロック搬出技術講習会	4	1	如意岳～蹴上～清水寺	雪稜
				1	須磨アルプス	岳友
	6-8	雪山基礎講座-2(7) (南ア・北沢峠～仙丈ヶ岳)		7	比良・岩阿沙利山～岳山	山友
				8	定期総会	山友
				8	向山(丹波市)	雪稜
				8	花見山行(沖島)	ちご
	13-15	野沢温泉(スキーネット)		15	局ヶ岳	岳友
				15	仙ヶ岳～宮指路岳	雪稜
				19	ミーティング	彷徨
		22	賤ヶ岳～山本山	ちご		
		28	岩籠山(野点山行)	雪稜		
27-1	八甲田山(スキーネット)	28	ミーティング	岳友		
5			5	12	金剛山(ダイトレ)	彷徨
				13	京都トレイル・奥比叡	ちご
				13	公開ハイク(場所未定)	山友
				13	金毘羅山	雪稜
				19	ミーティング	彷徨
				19-20	蛇谷～権現(女子テント泊縦走)	雪稜
				26-27	瑞牆山～金峰山	雪稜
		27	比叡山・回峰行コース	ちご		

会名略号 山友:滋賀山友会、岳友:湖南岳友会、雪稜:比良雪稜会、ちご:ちごゆり山歩会

シャク:シャクナゲ溯行クラブ、彷徨:彷徨倶楽部

スキーネット;山スキーネット滋賀、CSS:クライミング研究会滋賀



原稿の投稿先（4月号は2018年3月15日〆切）  
メールアドレス [okunoyutaka@yahoo.co.jp](mailto:okunoyutaka@yahoo.co.jp) まで  
原稿はB5サイズ、フォント10~10.5で、使用する写真は  
200KB以内として下さい。皆様のご協力をお願い致します。

「県連ニュース」№488

発行日 2018年2月20日

滋賀県勤労者山岳連盟

〒520-0836  
大津市杉浦町9-30

Tel 080-4971-6231  
Eメール [shigarosan@gmail.com](mailto:shigarosan@gmail.com)

<http://shigarousan.jimdo.com/>

ゆうちょ銀行（店名418）  
普通0239956

発行責任者 友永芳和

編集委員 奥野 豊 高玉 敬子 東郷 京子